

はじめに

現在、コロナ禍で先行きが不透明な中、多くの方々が言い知れぬ不安を感じています。これまでの当たり前だった私たちの生活や社会は、先達たちが築き上げてきた賜物だったと、あらためて感謝と尊敬の念を抱かずにはいられません。

本市は少子化や生産年齢人口の減少に伴い、今後もさらに高齢化が進み、団塊ジュニア世代が65歳以上になる令和22年（2040年）には高齢化率が40%に迫ると推計されています。

この来るべき超高齢社会を乗り越えていくためには、高齢者の誰もが住み慣れた地域において、人として尊厳を持って生き生きと暮らしていくことができるよう、「介護」、「医療」、「予防」、「住まい」、「生活支援サービス」が切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの、より一層の推進が重要です。そして介護保険制度によるサービスや行政が行う福祉サービスだけでなく、住民同士の助け合いや地域の関係団体による福祉の促進が不可欠であり、まさにオール横須賀で取り組んでいかなければなりません。

このたび、令和3年度から令和5年度までの3年間の計画期間とした「横須賀市高齢者保健福祉計画（第8期介護保険事業計画を含む）」を策定いたしました。

今後は、この計画に基づき、高齢者の皆さんが健康で生きがいを持ち、安心して充実した毎日を送ることができるよう全力で取り組み、市民一人一人がお互いの変化や多様性を尊重し、助け合い、分かち合える希望に満ちた社会、すなわち「誰も一人にさせないまち」の実現を目指してまいります。

市民の皆さんをはじめ、計画の推進に関わる全ての方々におかれましては、計画の趣旨をご理解いただくとともに、その推進についてご協力いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、貴重なご意見をいただきました横須賀市社会福祉審議会の委員の皆さまをはじめ、アンケートやパブリック・コメント手続などにご協力いただきました多くの皆さまに、心からお礼を申し上げます。

令和3年（2021年）2月

横須賀市長 上地克明